

情報に流されないために

宮崎市立生目中学校 3年 比 嘉 七 海

「このゲームに参加しよう。名前と電話番号を入力するだけでいいよ。」

ある日、SNSを開くと、友達からそんなメッセージが届いていた。見たことのあるゲームの広告だったため、最初は特に疑わなかった。しかし、何となく不安を感じた私は登録をしなかった。

数日後、その友達から思いもよらない話を聞いた。

「実は、アカウントを乗っ取られてしまったんだ。」

私は一瞬、言葉を失った。

詳しく話を聞くと、私に送られてきたメッセージも友達本人ではなく、第三者が勝手に送信したものであったという。

その瞬間、胸がどきりとした。もし私がメッセージを信用し、名前や電話番号を入力していたらどうなっていただろう。個人情報が悪用され、家族にも迷惑をかけていたかもしれない。考えるだけで恐ろしくなった。

それまで私は、インターネット上のトラブルをどこか他人事のように考えていた。しかし、身近な友達が被害に遭ったことで、その危険は決して遠い世界の話ではないことを実感した。そして、情報をうのみにせず、自分で確かめることの大切さを強く感じた。

その出来事の後、私は家族や友達にもこの話を伝えるようになった。

「知っている人から送られてきたメッセージでも、すぐに信用してはいけませんよ。」

そう話すと、「自分も気を付けようと思った」と言う友達もいた。また、家族とも不審なメッセージへの対応について話し合い、すぐに入力したり返信したりせず、一度立ち止まって確認することを約束した。

私は以前まで、情報を見極めることは自分だけの問題だと思っていた。しかし、正しい知識を周りの人と共有することで、被害を防ぐことができると気付いた。

また、以前にはSNSで有名人に関する根拠のないうわさが広まっているのを見たことがある。多くの人がその情報を信じていたが、後で事実ではないことが分かった。もし私もその情報を広めていたら、誰かを傷つけていたかもしれない。

インターネット上には正しい情報だけでなく、誤った情報や偏った意見も存在している。だからこそ、1つの情報だけで判断するのではなく、複数の情報を比べながら考えることが大切だ。

さらに、インターネット上では自分と同じ考え方の情報ばかりを見てしまうことがある。すると、自分の考えだけが正しいと思い込み、異なる意見を受け入れにくくなってしまう。だから私は、意識して様々な立場の意見に耳を傾けるようにしている。

これから先、私たちが触れる情報はますます増えていくだろう。だからこそ大切なのは、「本当に正しいのだろうか」と問い続ける姿勢だと思う。

私たちは一人一人が情報の受信者であると同時に発信者でもある。だからこそ、自分の発言や行動に責任を持たなければならない。情報の出所を確認し、自分の頭で考えることが必要である。

私はこれからも情報に振り回されるのではなく、情報と向き合いながら自分で考え、判断できる人になりたい。そして、家族や友達とも情報の危険性について話し合い、お互いに注意し合える関係を大切にしていきたい。

一人一人が情報を正しく見極める力を身に付け、その大切さを周りの人にも伝えていくことができれば、誤情報や詐欺による被害は減らしていけるはずだ。私はこれからの情報社会の中で、自分の頭で考え、責任ある行動ができる人でありたい。